

寒さが続きますが . . .

3学期が始まったばかりだと思っていたのですが、あっという間に2月になりました。暦の上では立春を迎えようとしていますが、まだまだ寒い日が続きます。それでも、子供たちは休み時間になると、縄跳び運動に進んで取り組むなど、元気に過ごしています。

さて、3年の授業日数も残りあとわずかになりました。4年への進級に向けて、学習の仕上げをする時期になります。学習面でも、生活面でも、今まで以上に達成感を充実させて、新しい学年に向けて大きくジャンプできるようにしたいと思います。ご家庭での励ましの言葉かけをよろしくお願いします。

◇言語環境を整えるだけで子供は伸びる！◇

「言葉には、私たちの脳を変える作用がある。」ということは、現在の脳科学の常識だそうです。いわゆる暗示のことで、有名なのが「プラシーボ効果」です。効果がある薬と、実際には効果がない薬を渡した実験で、効果がない薬を渡すときに、「この薬は効きます」と付け加えて渡した結果、病状が改善したそうです。同様に、よい言葉によって人のモチベーション、パフォーマンスが上がったり、言葉通りのよい行動につながったりすること。なぜ、このようなことが起こるかということ、脳の中にあるミラー細胞が関係しているらしいです。ミラー細胞は、ものまね細胞と言われ、イメージが高まると実際のその行動を引き起こすそうです。（例えば、餃子をCMで見たら餃子を食べたくなるといった感じです。）そして、このミラー細胞があるのが、言語中枢の近くです。つまり、よい言葉、悪い言葉にかかわらず言葉を扱うとミラー細胞が活動すると言われていています。

つまり、自分が使う言葉で、体が動いていくということです。「自分はできる」「やってみよう」「これは好きだ」ポジティブな言葉を発すればそのような行動につながっていくし、逆に、「できない」「やりたくない」「嫌いだ」などの言葉を発すればそのようになっていくということです。学校では、授業中に「この勉強は面白いよ。」「これは楽しいよ」など、できるだけポジティブな言葉がけをしています。ぜひ、お子さんの進んでほしい方向の言葉がけ「あなたは優しいね」「あなたは、〇〇の天才だね」と言ってみてください。また、お子さんが悪口やネガティブな言葉を言っていたら、「そんな言葉は使ってほしくないな」と優しく伝えてみてください。信頼関係のある方の言うことはとても効果があるそうです。すぐには、効果が出ないかも知れませんが、続けることによって、みんなのモチベーションが上がり、成美小学校からノーベル賞を受賞する人が誕生するかもしれません。

◇何でもがんばる3年生◇

理科では、磁石の性質について、実験をしながら学んでいます。予想に反する実験結果に驚く子供の様子を見て、微笑ましく思います。体育科の学習では、縄跳びと跳び箱の上達を目指して、練習に励んでいます。先月末に行われた漢字・計算チャレンジテストを通して、自主勉強で継続して練習する大切さも学びました。

そんな子供たちががんばっている様子を2月9日（金）の学習参観で見ていただけたら嬉しいです。3年生最後の学習参観になりますので、お待ちしております。

